

令和5年度 ふるさと・きずな維持・再生支援事業事務業務

NPO、企業等との連携・協力事業 (マッチング事業)

報告書



福島県

ふくしま地域活動団体サポートセンター

事業委託：福島県企画調整部文化スポーツ局文化振興課

事業受託：認定特定非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンター

目次

1. 事業の目的	3
2. 事業スケジュール	4
3. 事業の内容	6
(1) 事前アンケート調査	6
(2) NPO事前講座	15
(3) 企業との情報交換会	27
(4) NPOと企業とのマッチング会	31
(5) マッチング会後のアフターフォロー	46
4. マッチング事業の成果	51

1. 事業の目的

少子高齢化の進行に伴う人口減少や自然災害の頻発・激甚化、新型コロナウイルス感染症の発生等、社会を取り巻く環境が大きく変化する中で、住民ニーズの多様化や複雑な地域課題等に対応していくためには、行政のみならず、企業、地縁組織、NPO等の様々な主体と連携・協力する「協働」の取組が重要と考えられます。

福島県においても、これまでに多くの団体が特定非営利活動法人等として法人格を取得し、保健福祉、子どもの健全育成、まちづくりなどさまざまな分野で社会貢献活動を展開しており、地域に根付いた活動を実施しています。

NPOは専門性・柔軟性・先駆性等の特性を有しており、企業等と協働することにより、地域の課題解決や住民主体の地域づくりがより効果的に実施されることが期待されます。

このNPOと企業等の「協働」による社会課題解決を推進するため、福島県のNPO支援センターである「ふくしま地域活動団体サポートセンター」が県内のNPOと企業の社会課題の解決に向けた活動に関するデータを収集し、それらをもとにマッチングさせ、協働事業として実現させることを目的とします。

<NPOと企業等のマッチング事業の基本的な考え方>

NPO・企業等の両者に事前アンケート調査を実施し、社会課題の解決に向けた活動に関するデータを収集しました。参加者募集においては、県内のNPO及び企業に広く参加を呼びかけました。

NPOに対しては、基礎・応用講座を実施した。自団体の活動をふりかえり、特に、団体の「強み」「弱み」を分析しました。さらに、企業側が求めるもの、NPO側から企業に提供できるものについても検討し、協働パートナーとしてアピールする際のポイントを学ぶ内容としました。

また、企業に対しても、企業向け情報交換会を通じて、参加予定のNPOのニーズや連携・協働のアイデアを伝え、マッチング会やその後の交流が活発になるように図りました。

マッチング会実施後も、協働促進のため、企業・NPOを訪問・電話調査し、協働事例の聞き取り調査、伴走支援等を実施しました。

2. 事業スケジュール

(1) 事前アンケート調査（9月）

① NPOと企業等のマッチング事業に関するアンケート（NPO）

調査期間：9月7日（木）～25日（月）

調査範囲：福島県内に所在するNPO法人（851団体）

② NPOと企業等のマッチング事業に関するアンケート（企業）

調査機関：9月7日（木）～25日（月）

調査範囲：福島県内に所在する企業（148社）

(2) NPO事前講座（10～11月）

① 基礎講座

10月18日(水) 郡山（コトヒラク）

10月25日(水) いわき（いわき産業創造館）

10月26日(木) 福島（福島市市民活動サポートセンター）

11月 1日(水) 会津若松（アピオスペース）

② 応用講座

11月13日(月) 福島（福島市市民活動サポートセンター）

11月14日(火) 郡山（コトヒラク）

11月15日(水) 会津若松（アピオスペース）

11月16日(木) いわき（いわき産業創造館）

(3) 企業向け情報交換会（11月）

11月27日(金) Zoomによるオンライン開催

※開催時間：14：00～15：30

「NPOと企業の協働についてその可能性を考える講座」

講師：東森 歩氏

(4) NPOと企業とのマッチング会（12月～翌3月）

12月 5日(火) 郡山（労働福祉会館）

12月 6日(水) 福島市（福島市市民活動サポートセンター）

12月 7日(木) 会津若松（アピオスペース）

12月12日(火) いわき（いわき産業創造館）

(5) マッチング会後のアフターフォロー

12月13日(水)～令和6年3月31日（日）

3. 事業の内容

(1) 事前アンケート調査

事業を開始するにあたり、県内のNPOと企業へアンケート調査を実施しました。

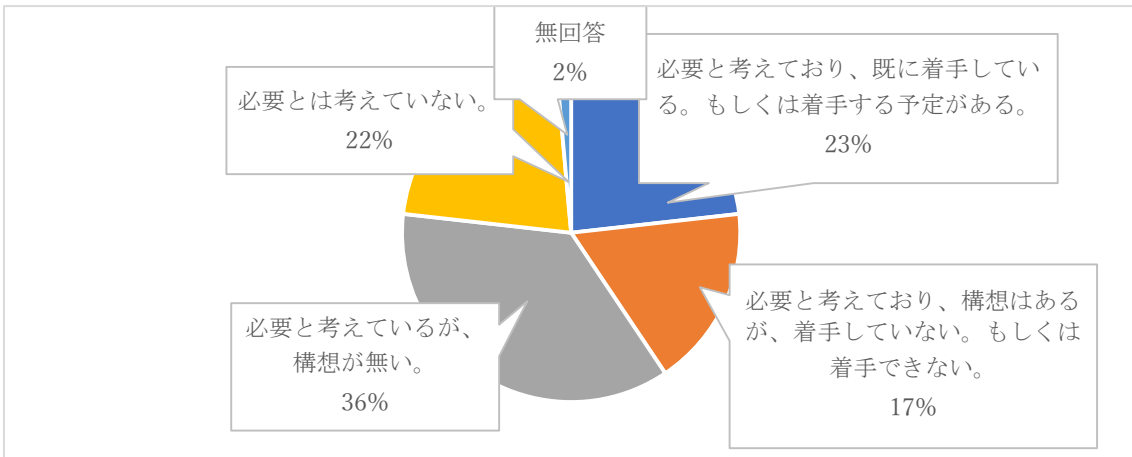
令和5年度 NPOと企業等のマッチング事業 NPO向け事前アンケート

- 配布 851 団体
- アンケート回答数 69 団体（回収率 8.1%）

<NPO向け事前アンケート集計結果>

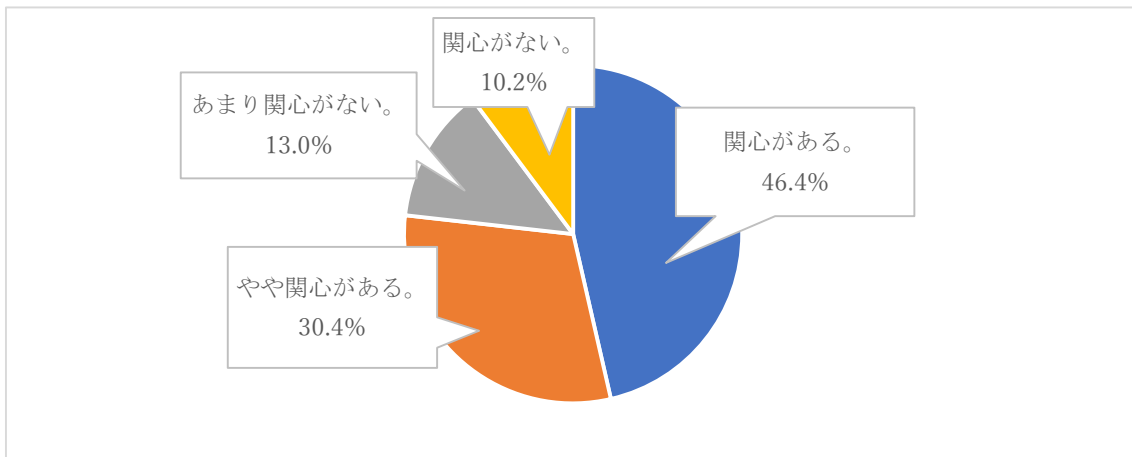
1. 貴団体は企業等との協働による、従来からの取組の変革や新事業の創出が必要と考えていますか？（当てはまるもの1つに○を付けてください）

- ① 必要と考えており、既に着手している。もしくは着手する予定がある。
.....16件 (23.2%)
- ② 必要と考えており、構想はあるが、着手していない。もしくは着手できない。
.....12件 (17.4%)
- ③ 必要と考えているが、構想が無い。
.....25件 (36.2%)
- ④ 必要とは考えていない。
.....15件 (21.7%)
- ※無回答1件 (1.5%)



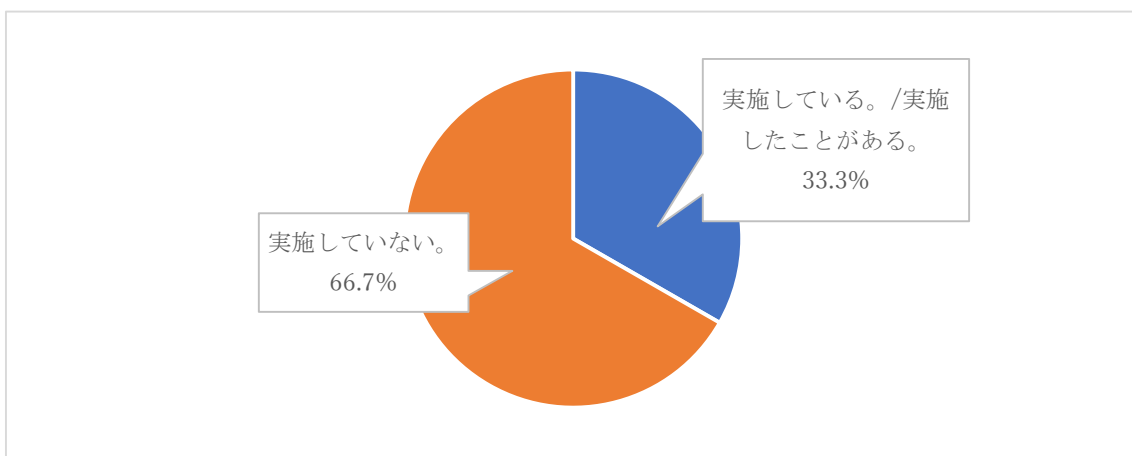
2. 企業等との協働に関心がありますか？(当てはまるもの1つに○を付けてください)

- | | |
|------------|-------------|
| ① 関心がある | 32件 (46.4%) |
| ② やや関心がある | 21件 (30.4%) |
| ③ あまり関心がない | 9件 (13.0%) |
| ④ 関心がない | 7件 (10.2%) |



3. これまで、企業等との協働を実施したことはありますか？(当てはまるもの1つに○を付けてください)

- | | |
|--------------------|-------------|
| ① 実施している/実施したことがある | 23件 (33.3%) |
| ② 実施していない | 46件 (66.7%) |



4. 「実施している/実施したことがある」と回答した方 どのような取り組みかご記入ください。(取組内容)

- 共同でサッカー教室などを開催
- 食育イベント
- 南高梅の栽培
- 【すこやかカラダ大作戦 in ふくしま】
震災後、様々な要因で県内の子供たちに運動不足が生じ、肥満児が増加。この問題に取り組むため共同でスポーツ&レクリエーションイベントを実施
- 寄附集め等での協働
- 美容品類の一部を作業請負
- 自然観察会
- エコアクションの紹介
- 落花生の栽培、殻剥きの作業委託、小中学生との交流会参加
- 「福島ひまわり里親プロジェクト」とのコラボ商品「ひまわり赤べこ」と「ひまわり起き上がり小法師」製造販売を実施
- 社員寮一部を無償提供。子育て支援事業「コミュニティフリッジひまわり」の運営
- 水素発生装置開発
- 映画上映
- 保育園留学
- 農福連携（箱折り柿枝切）
- 障がい者合理的配慮勉強会
- 東日本大震災避難者支援
- 講師依頼
- 各種セミナー事業
- バイオマス燃料普及
- 郷土料理体験
- 街歩きツアーの受入
- 三セク、商工会・実行委員会等主催のイベント等協力
- 施設外就労
- 県産農産物の販売
- 商店街活性化イベント
- リサイクル資源分別
- 楽都郡山への参加

5. 企業等との協働を行う場合、相手方に協力を求めたいモノ・コトはありますか？

- 長期休業期間の保育補助
- 作業の受注
- ボランティア参加
- 広報、協働の社会課題解決
- ボランティア協力等
- まずは相互理解の場、その後に協働事業など
- 子育て支援フードバンク
- 商品開発、販売のノウハウ
- 情報交換、(省エネなどの)技術指導、共同研究、学習資料作成などのノウハウ
- 障がい者への理解、作業の提供
- 事業への参加や協力(協賛や食料品・日用品の寄付など)
- 旅客車両、宿泊場所提供、体育館施設使用など
- 仕組みの作り方の指導、チームマネジメントの指導
- 地元の中小企業電力を作りたい
- ノウハウ
- 集客力
- 農福連携では授産事業振興会に指導を頂いている。
- 販促ノウハウ、商品協働開発
- ボランティア活動(介護、学童クラブ、環境美化、補助的な内容)
- 園芸療法・園芸福祉を取り入れた事業を考えている企業や団体との新たな事業の構築及び事業展開
- 情報発信、人手
- 障がい者の自立支援に理解のある企業と一緒に、工賃向上に役立つ商品、製品開発を行うための「商品開発、販売のノウハウ指導」
- 協働環境の創出、提供
- 自主製品の販路拡大など販売のノウハウ指導
- 活動助成金及びボランティアの参加
- 予算の確保
- 障がい者就労への理解と支援、業務指導、作業手順の解説など
- 福島県産農産物の利用
- イベント当日のボランティアスタッフ

- 当事業所活動への理解
- 希望する作業内容の広報
- 猛暑・寒冷期における外での作業
- 企業との協働する場所が近距離（距離が 10km 程度以内）
- 女性ができる仕事
- 地域にどう取り組んでもらいたい（福祉事業を中心に）
- 広報（ホームページなど）のサポート（アドバイス）
- 研修活動 ボランティア活動など

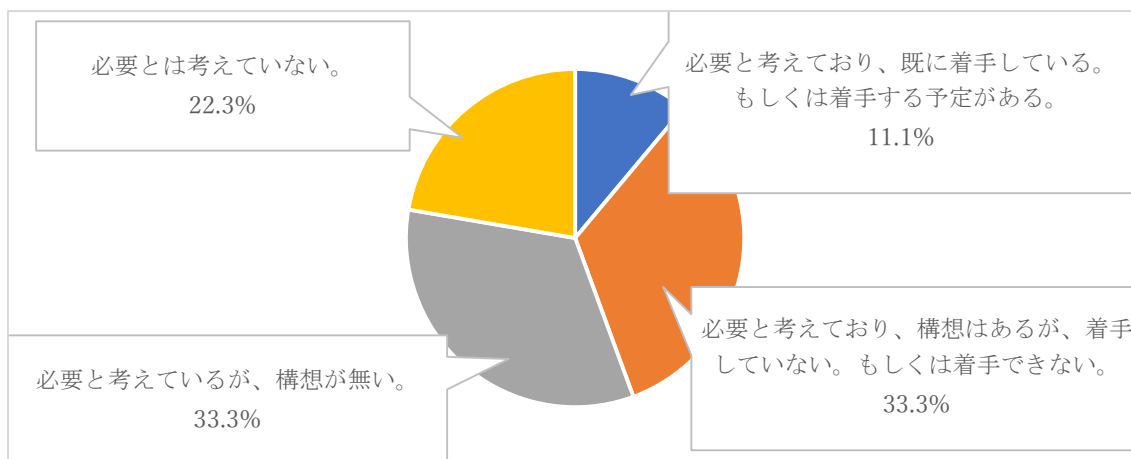
令和5年度 NPOと企業等のマッチング事業 企業向け事前アンケート

- 配布 148社
- アンケート回答数 9社（回収率 6.1%）

<企業向け事前アンケート集計結果>

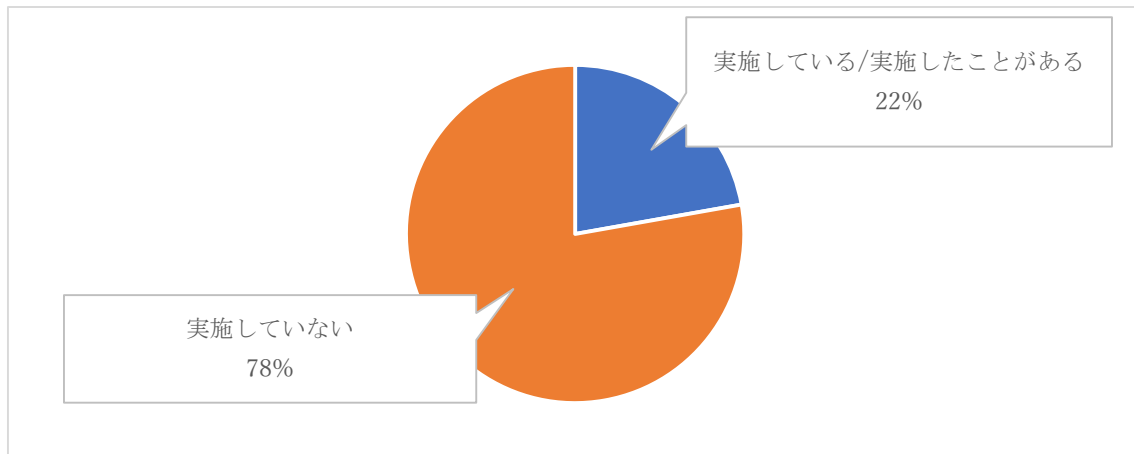
1. 貴社はNPO等との協働によって、従来からの取組の変革や新事業の創出が必要と 考えていますか？（当てはまるもの1つに○を付けてください）

- ① 必要と考えており、既に着手している。もしくは着手する予定がある
.....1件（11.1%）
- ② 必要と考えており、構想はあるが、着手していない。もしくは着手できない
.....3件（33.3%）
- ③ 必要と考えているが、構想が無い
.....3件（33.3%）
- ④ 必要とは考えていない
.....2件（22.2%）



2. これまで、NPO等との協働を実施したことはありますか？

- ① 実施している/実施したことがある・・・2件（22.2%）
- ② 実施していない・・・7件（77.8%）



3. 「実施している/実施したことがある」と回答した方 どのような取り組みかご記入ください。（取組内容）

- 磐城高等芸術商科総合学園生徒の作品を当社交流ホールに展示
- HP の作成等のセミナー

4. NPO等との協働を行う場合、相手方に協力を求めたいモノ・コトはありますか？

- 研修関連、求人関連での協力
- 採取クルミの貯蔵、加工場として利活用できる遊休施設の紹介や斡旋
- 空いた自由時間を活用してクルミ採取の内職仕事をできる方の募集方法
- 喜多方商人塾という商人育成事業をやりたい。補助金と運営。
- 自社外のノウハウの提供、セミナー等
- 求人に関すること

5. NPO等との協働を行う場合、相手方に提供できるモノ・コトはありますか？

- 商品パッケージ全般の提案
- 展示スペースの提供、廃棄物処理工場の見学、当社取組に関する講演
- 眠れる資源「会津鬼クルミ」の六次化商品の開発方法・販売方法の助言
- 農業従事者への農閑期の仕事提供
- 採取クルミの買い取り
- 商人講座
- 商品の販売実現、企業についての講演
- ボランティア参加

(2) NPO事前講座

NPOが企業等と活動する際に、資金面での援助や広報協力など、NPO側が一方的な支援を期待することが多いです。しかし、「協働」とは、「異種・異質の組織」が、「共通の社会的な目的」を果たすために、「それぞれのリソース（資源や特性）」を持ち寄り、「対等の立場」で協力して共に働くこととなります。（※定義：日本NPOセンター）

協働の場において、双方が対等な関係を築けないのは、NPOの運営力が足りない場合もあるものの、自団体の価値、特に、「強み」「弱み」に気付かない場合も多いため、「強み」の部分を効果的にアピールできないことや、「弱み」を補完するための協働パートナー選びが苦手な面も指摘されます。そこで、民間企業の経営者としての経験があり、現在はNPO運営にも携わっている講師を迎え、基礎・応用の二段階に分けて、企業との協働パートナーづくりに向けた事前講座を実施しました。

■実施詳細

<基礎講座スケジュール>

10月18日(水) 郡山（コトヒラク）

10月25日(水) いわき（いわき産業創造館）

10月26日(木) 福島（福島市市民活動サポートセンター）

11月 1日(水) 会津若松（アピオスペース）

※Zoomとのハイブリッド開催

※開催時間：14：00～16：00

<講師>

深澤秀樹氏（ふくしまNPOネットワークセンター常務理事）

佐藤正雄氏（ふくしまNPOネットワークセンター理事）

<内容>

基礎講座では、企業の視点（求めるモノ）を学び、自団体分析を通して、団体の価値（強み）と課題（弱み）を洗い出し、マッチングの際に企業にアピールするポイントの理解を深める。

<参加団体>

郡山会場（参加団体数：1 参加人数：1）

- ・認定特定非営利活動法人パンダハウスを育てる会

いわき会場（なし）

※参加者なし：令和5年9月の水害の影響

福島会場（参加団体数：4 参加人数：4）

- ・NPO法人市民活動ネットワーク相馬
- ・特定非営利活動法人ビーンズふくしま
- ・特定非営利活動法人アースウォーカーズ
- ・特定非営利活動法人いわて連携復興センター

会津若松会場（参加団体数：2 参加人数：2）

- ・特定非営利活動法人ココネット・ママ
- ・NPO法人 makana

<資料>

- ・参加者募集チラシ

企業等との連携・協働をサポートします！

NPOと企業等のマッチング事業

参加者募集

※参加無料

今日までNPOは震災復興や被災者支援、地域の活性化など、様々な社会課題に取り組み社会に貢献してきました。近年は自然災害や気候変動など新しい状況に直面し、NPOは事業の根本的な見直しや新規事業の検討など、状況に合わせてかじ取りを求められています。一方で、企業においても様々な営利目的だけでなく、ソーシャルビジネスという観点での経営など変化が求められています。

「NPOと企業等のマッチング事業」をとおして、自団体の強みを活かした企業との連携や人材の輪を広げるなどセンターを起した交流を図ります。

●連携・協働までのステップ

基礎講座	応用講座	マッチング会	連携・協働へ
企業視点で集めたアピールポイントを本企業経営者等からシクチャー	団体の強みや弱みを把握し、企業が関心を持つポイントを探ります。	企業への課題解決と連携し、企業が関心を持つポイントを探ります。	マッチング会終了後も、本NPOの担当者から個別のサポートもします。
■郡山 10/15(水) ■いわき 10/25(水) ■福島 10/26(木) ■会津若松 11/15(水) 2024年参加者 ※日程、会場は募集の参加申込書をご参照ください。 ※各講座のみ、マッチング会のみでの参加も可能です。	■郡山 11/23(水) ■いわき 11/24(木) ■福島 11/25(金) ■会津若松 11/26(土) 2024年参加者 ※日程、会場は募集の参加申込書をご参照ください。	■郡山 12/9(水) ■福島 12/9(水) ■会津若松 12/9(水) ■いわき 12/12(土) 2024年参加者 ※日程、会場は募集の参加申込書をご参照ください。	

●連携・協働事例

【事例1】企業の企業人ベースの一部をNPOが主催する懇話会会場として提供。
結果 NPO/NPO活動の窓口になった。
企業 活動の促進サービスにつながった。
【事例2】製品の検査や生産するNPOの企業向けに設備を貸出。（継続中）
結果 NPO 講師として企業の社員教育をするなど、講師/講師/講師の役割につながった。
【事例3】NPOが運営する子ども食堂に対し、食品を扱う企業からフードロスの一員として定期的に食品を提供。（継続中）
結果 NPO（企業）をより主体的に活動するようになり、活動の促進につながった。
企業（タンパク質食品の提供）を減らすことができた。
その他にも多数のマッチング事例あり。

参加ご希望の方は裏面の参加申込書でお申し込みください。 **締め：10月13日(金)**

主 催 / 福島県 令和5年度ふるさと、まがらみ創生 推進支援事業 NPO、企業等との連携、協力事業
事務局 / よくしま地域活動支援センター
〒960-0001 福島県いわき市本町中央1-1-1 福島県庁本庁4階
TEL 024-221-7333 FAX 024-221-2141
お問い合わせ先 福島県庁本庁4階 市民生活課 市民活動課
電話受付：受付時間 午前9時～午後5時 土日祝祭日
※お問い合わせ先は、福島県庁本庁4階市民生活課NPOネットワークセンター

令和5年度 NPOと企業等のマッチング事業

参加申込書

団体名	
参加者氏名 (2名まで)	
電話番号	
メールアドレス	※オンライン参加希望の方は、必ずご記入ください。オンライン会場が可能な事業に ない、またはオンライン参加に不安がある方はご記入ください。
会場	基礎講座 時間：14:00～16:00 ZOOM参加可 定員20名 <input type="checkbox"/> 郡山 12/12(水) コトひらくラウンジ <small>〒960-0001 福島県郡山本町中央1-1-1 福島県庁本庁4階</small> <input type="checkbox"/> いわき 12/25(水) いわき産業創造トラップ(仮) セミナー室A <small>〒970-0001 福島県いわき市相馬駅前10</small> <input type="checkbox"/> 福島 12/26(木) 福島市市民活動サポートセンター 3F 3-2会議室 <small>〒960-0001 福島県福島市3丁目1-15 福島県庁本庁4階</small> <input type="checkbox"/> 会津若松 11/15(水) アピールベース 第2研修室 <small>〒960-0001 福島県会津若松市大町1-1-1</small>
	応用講座 時間：14:00～16:00 ZOOM参加可 定員20名 <input type="checkbox"/> 郡山 11/23(水) 福島市市民活動サポートセンター 3F 3-2会議室 <input type="checkbox"/> 福島 11/25(金) アピールベース2会議室 <input type="checkbox"/> いわき 11/26(土) いわき産業創造トラップ(仮) 会議室2
	マッチング会 時間：13:30～16:30 定員20名 <input type="checkbox"/> 郡山 12/09(水) 郡山中興建設会館 中ホール <small>〒960-0001 福島県郡山本町中央1-1-1</small> <input type="checkbox"/> 福島 12/09(水) 福島市市民活動サポートセンター 会議室B <input type="checkbox"/> 会津若松 12/09(水) アピールベース 大会議室 <input type="checkbox"/> いわき 12/12(土) いわき産業創造トラップ(仮) 会議室1

※複数の会場にご参加いただけます。(定員：各会場とも20名)
※参加希望の講座、マッチング会の□にチェックを入れてください。

■申込締切 **10月13日(金)**
※募集の参加人数の都合により、予定より定員数を抑えさせていただきます。

■申込方法 [FAXで申込] この参加申込書にご記入の上、FAXにてお送りください。
FAX (024)523-2741
[メールで申込] 団体名・参加者・電話番号・参加会場を明記の上、メールにてお申し込みください。
f-matching@f-saposen.jp

■お問合せ よくしま地域活動支援センター 担当：齋藤(宏幸)、内山、伊藤
TEL (024)621-7333

・基礎講座資料

<p>NPOと企業等のマッチング</p> <p>① 基礎講座編</p> <p>(特非) ふくしまNPOネットワークセンター 常務理事 深澤 秀樹</p>	<p>企業について考える</p> <p>企業も人の集まり</p> <p>自己基準⇒多様・個性</p>
<p>利己と利他</p>	<p>正解は無い!</p> <p>ルールとマナー</p>
<p>企業は利益が目的か?</p>	<p>企業は社会公器</p>
<p>社員+株主+未来+社会</p>	<p>WinWin = 対等の関係</p>

企業の事業や視点（求めるモノ）を考える

NPOと企業のマッチング

自団体が出来る（与える）コトを考える

企業にアピールする！

自団体分析＝自団体の価値と課題

「私たちの団体の強みは？弱みは」

団体の大小は関係ない？⇒商品などの企画はアイデア次第

「私達は社会課題と戦っている！」

貴方の団体は「何を与えられますか？」

NPOから企業への提案（企業からの要求を満たす）⇒協働

- ①企業のお客様の一人（客からの情報）
- ②企業の市場調査担当する？
- ③企業のイメージアップの実働？
- ④企業の商品の付加価値アップ（社会課題対応協働商品）
- ⑤企業のお客集め
- ⑥企業の社会教育担当
- ⑦企業の発想力強化（社会の多様を提案）
- ⑧・・・

例えばです！

講座受講者へのアンケート集計結果

1) 今日の講座を受講した感想はいかがですか？

	回答数	回答率(%)
1.大変有意義だった	1	16.6
2.有意義だった	4	66.6
3.ふつう	1	16.6
4.あまり良くなかった	0	0
5.良くなかった	0	0
合 計	6	

2) 講義内容や資料はわかりやすかったですか？

	企業	回答率(%)
1.大変わかりやすかった	1	16.6
2.わかりやすかった	4	66.6
3.ふつう	1	16.6
4.やや難しかった	0	0
5.難しかった	0	0
合 計	6	

3) 本講座の理解度は何%くらいですか？（回答数）

- ・ 80% (3)
- ・ 45% (1)
- ・ 75% (1)
- ・ 50% (1)

<コメント>

・ 分かりやすくご説明いただきありがとうございます。(自身の)所属団体をイメージしながら受講したので、時々、イメージできなくて「？」となる場面やどういうことだろうと考える場面がありました。

4) 企業との協働に対する思いや当事業に関することその他、何でもお書きください。

・今迄、多くの方・企業から支援を受けたいとの思いから、特定の企業とのコラボを行って来ませんでした。しかし、日本でも社会貢献に携わる企業が増えており、当会へ「何かお手伝いできる事はありませんか？」との問い合わせもあります。企業イメージが強くなる懸念からチャレンジすることはありませんでしたが、この活動を長く続けるには協働は必要と感じています。理念を誇示しつつ、新たな挑戦なので不安と期待が入り混じっています。

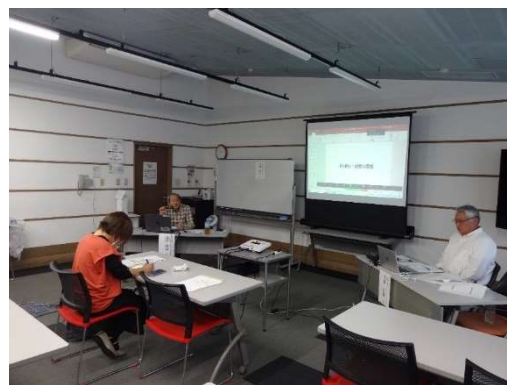
・企業の皆さんへNPOとの協働を働きかけるきっかけや効果的なやり方を知りたい。

・継続して協働できる関係構築を模索しています。

<講座の様子>



(福島)



(会津若松)

<応用講座スケジュール>

1 1月13日(月) 福島 (福島市市民活動サポートセンター)

1 1月14日(火) 郡山 (コトヒラク)

1 1月15日(水) 会津若松 (アピオスペース)

1 1月16日(木) いわき (いわき産業創造館)

※Zoom とのハイブリッド開催

※開催時間：14：00～16：00

<講師>

深澤秀樹氏 (ふくしまNPOネットワークセンター常務理事)

佐藤正雄氏 (ふくしまNPOネットワークセンター理事)

<内容>

応用講座では、基礎講座の内容をふりかえり、経営者の視点から団体の経営を見直す組織診断を実施し、団体の信頼度を高めることの重要性を学びました。

講座後半には、「自団体紹介」「企業との協働を通じて実現したいこと」を発表するミニ・プレゼン会を実施し、企業とのマッチング会に向けて準備しました。

<参加団体>

福島会場 (参加団体数：3 参加人数：4)

- ・特定非営利活動法人ビーンズふくしま
- ・認定特定非営利活動法人パンダハウスを育てる会
- ・一般社団法人 Mother Tree

郡山会場 (参加団体数：2 参加人数：3)

- ・特定非営利活動法人ココネット・マム
- ・NPO法人 makana

会津若松会場 (参加団体数：2 参加人数：2)

- ・NPO法人裏磐梯エコツーリズム協会
- ・特定非営利活動法人いわて連携復興センター

いわき会場 (参加団体数：1 参加人数：1)

- ・NPO法人こども緊急サポートふくしま

<資料>

・応用講座資料

NPOと企業等のマッチング

② 応用講座編

(特非) ふくしまNPOネットワークセンター
常務理事 深澤 秀樹

基礎編の振り返り

協働希望の企業に**アピール**しよう！

貴方の団体は「何を与えられますか？」

「私たちの団体の強みは？」
「私達の企画やアイデアは…！」

☛ 自団体の価値と課題 = **自団体分析** ⇒ 企業の関心

基礎編の振り返り

NPOから企業への提案 (企業からの要求を満たす) ⇒ 協働

- ① 企業のお客様の一人 (客からの情報)
- ② 企業の市場調査担当する？
- ③ 企業のイメージアップの実働？
- ④ 企業の商品の付加価値アップ (社会課題対応協働商品)
- ⑤ 企業のお客様め
- ⑥ 企業の社会教育担当
- ⑦ 企業の売場力強化 (社会の多様を提案)
- ⑧ ……

例えばです！

今日の講座のスタート

今日は、企業へのプレゼン準備です

**まずは、
パートナーとしての安心感**

「組織診断」をしてみよう！

- ① 社会貢献性・・・社会的に必要とされているか？
- ② 事業継続性・・・計画に沿った事業ができてきているか？
- ③ カバンス・・・情報公開、組織の透明性が出来ているか？
- ④ 地域密着性・・・地域に知られ、行政や地縁と協力しているか？
- ⑤ 認知度・・・知名度はどれくらい？
- ⑥ 財務体力・・・必要経費の獲得方法が確立しているか？
- ⑦ 成長性・・・活動範囲の広がりや賛同者の増加があるか？
- ⑧ その他・・・理念の徹底、5年後ビジョン (目標) の団体内外周知
- ⑨ その他・・・協働事業の実績、助成金などを通じた企業付き合い

・5点満点で、1と5を付けたところがありますか？
・他団体には無い、特徴的な所に何か気づきましたか？

結果、自団体の信頼度を、どう判断しますか？

- ・不安なら、今すぐにでも改善しましょうか？
- ・自信を持って、胸を張れる点は？
- ・多分、他にたく頑張っている点は？
- ・ちょっと、人に強調できる特異な点は？

大事なのは、自信のある点、協調したい点！ ⇒ プレゼンで！

貴方 (トップ) の経営は？

団体の個性 = トップの個性 ⇒ 団体の色・雰囲気・優先度・・・

考え方、手法、判断基準、
大事にしている事、人やお金の使い方、
パートナー関係、人材育成、・・・

⇒ **自分の経営を見つめる！**

経営にマニュアルは無い！
経営はスキルやノウハウではない！

- 自分は、何の為に経営するのか
- 自分は、経営を通じて何ができるか
- その結果、どの様な状態を目指すのか
- その為には、誰のどの様な協力が必要なのか など

例えば…

【私の経営は…です】

- 正解は不明 = 調査/カンニング/事例 OK (自答する!)
- 達成したい目的: 定款 ⇒ なぜ団体を (行動を確認する)
- 社会課題が相手 = 必要な能力 (多様をどう活かすか)
- 集団で活動 = 一人では何もできない (共感の仕方は?)
- 決断する = 未来をつくる (決断者の感性=責任とは?)

自問自答を…具体的に!

より具体的な、例えば…

≪BLTオーナー吉成さん談から≫

変化への三つのヒント

- ・自分からピンチをつくる = ピンチの**見方**
- ・気にいっただけで居る = **行動**の順序
- ・やってダメなら、すぐやめる = 失敗への**意識**

次は、仲間たち

どんな人達が集まったのかな?

例えば…

仲間達と共有する「経営の視点」

その団体の「行動基準」「目指す姿」を共有する

- ・長期視点で目の前の課題解決を! (慌てない)
- ・皆が当事者になる! (自分ごとにする)
- ・共に挑戦する体質 (失敗の評価は…)
- ・多様性を尊重する体質 (利他の心で接する)
- ・育つ環境を維持する体質 (育てるでは無く)

たとえば、天邪鬼! (逆に考える)

- 中長期計画・・・先から現在を見る
- 反省・・・スタートから現在を見る
- 組織・・・逆三角形

この様に…

貴方が、仲間達と共有しているのは何?

書き出してみましょう!

ここまでのまとめ=アピールの原点です

貴方(団体)の経営スタイルを説明してみましょう!

ここで、もう一度…

⇒ 自分の団体を見つめてみよう!

- 強み…相手に与えられる・メリット
- 弱み…相手に補完して欲しい部分

■ 感心を与えるアピール点を探す

もう一度振り返り、自団体を分析してみよう

組織分析

- ・目的、戦略、風土、価値観
- ・組織形態、スキル、システム、
- ・活動内容・活動実績
- ・顕在化している組織課題
- ・潜在的な組織課題 (ex 当事者意識不足)
- ・人材 (確保・育成・コミュ不足・世代間・戦略理解・・・)
- ・経理 (お金・資産・運用・未来...)
- ・職場環境

アピールを書き出そう!

強みは...

-
-
-
-

弱みは...

-
-
-
-

企業との協働で実現したいこと

私の団体は企業との協働を通じて

を実現します!

次回は、いよいよ、
マッチング・プレゼン会です。

あくまで、対等winwinですよ!

講座受講者へのアンケート集計結果

1) 今日の講座を受講した感想はいかがですか？

	回答数	回答率(%)
1.大変有意義だった	4	66.6
2.有意義だった	2	33.3
3.ふつう	0	0
4.あまり良くなかった	0	0
5.良くなかった	0	0
合計	6	

2) 講義内容や資料はわかりやすかったですか？

	企業	回答率(%)
1.大変わかりやすかった	3	50
2.わかりやすかった	3	50
3.ふつう	0	0
4.やや難しかった	0	0
5.難しかった	0	0
合計	6	

3) 本講座の理解度は何%くらいですか？（回答数）

- ・ 80%（4）
- ・ 90%
- ・ 70%

<コメント>

・ 企業に訴える内容をどう考えるのか。何をして欲しいか。一緒にやるのか。

4) 企業との協働に対する思いや当事業に関する事その他、何でもお書きください。

・ 企業の方とどういう事業が出来るのが難しいと思います。治療を受けている子どもや家族の方との関わりを持てるのが良いかとも思いますが、家族の方も情報提供する問題があります。

- ・ 応用講座になって具体的なものが見えはじめた。ありがとうございました。
- ・ 準備物等の連絡は早めにいただけるとうれしいです。
- ・ 講義では企業との協働について、初めて学ぶことが多く大変勉強させていただきました。（応用講座においても）基礎編についても丁寧に教えていただき嬉しかったです。そして、企業側が思っていることや協働を考えていく上で大切な事項等を沢山学ぶことができました。また、講師の先生方からアドバイスを頂くことで当協会を客観視することができ、気づきが多くありました。学んだことを持ち帰り企業との協働について団体内でも教わったことを共有していきたいと思えます。ありがとうございました。
- ・ 協働の成功事例が複数出てくれば、参加したいNPOも増えると思われます。

<講座の様子>



（ 福 島 ）



（ 郡 山 ）



（ い わ き ）

(3)企業向け情報交換会

企業向け情報交換会は、マッチング会への参加を予定している企業を対象としました。企業に向けて、NPOとのマッチングを成立、協働活動の継続につなげる方法を学ぶ講座を実施しました。

講師には、高知市においてNPOと企業との協働のサポート経験が豊富な東森歩氏を招き、「NPOと企業の協働について、その可能性を考える講座」と題し、企業やNPOが直面する社会的課題やNPOとはどんな組織なのかを学び、企業とNPOの協働するために必要な考え方や協働の実践例を知る内容としました。

■実施詳細

<スケジュール>

11月27日(月) 14:00～16:00

※Zoomにて開催

<講師>

東森歩氏(ファン度レイジング・マーケティングCEO)

<内容>

- ・企業やNPOが直面する社会的課題について知る。
- ・NPOとはどんな組織なのか、を知る。
- ・企業とNPOの協働についてイメージする。
- ・協働するために必要な考え方や協働の実践例を知る。

<参加企業>(参加企業数:6社 参加人数:9名)

※()の数字は各企業の参加人数

- ・伊達貨物運送株式会社 (2名)
- ・株式会社いちい (2名)
- ・福島信用金庫 (1名)
- ・株式会社ハニーズホールディングス (1名)
- ・福島キャノン株式会社 (2名)
- ・株式会社河京 (1名)

<資料>

・参加者募集チラシ

NPOと企業等のマッチング事業 開催のご案内

参加無料

私たちを取り巻く社会環境の変化により、子どもの貧困問題や超高齢化社会による働き手不足など、新たな社会課題が生じています。そのような中、ソーシャルビジネスという視点から、子ども食堂との連携やアクティブシニアによる介護サービスなど、新たな事業を展開する企業や団体が増えてきています。

企業とNPOが互いの強みを活かして連携・協働すれば、企業イメージアップや企業の成長、社会課題の解決など新たな事業展開につながります。そこで、NPOや企業などのセクターを超えた交流をおして連携や協働につなげていくための「NPOと企業等のマッチング事業」を開催します。

NPOとのマッチング会に先立ち、参加NPOやこれまでのマッチング事例を紹介する「企業向け情報交換会」をZoomを使って開催します。講師に東森歩(ひがしもりあゆみ)氏を招き、NPOと企業がタイアップして行う商品企画などについて、事例を交えながらお話しいただきます。

■ マッチング会までのステップ

参加お申込み
(11/15まで)

情報交換会
(Zoom)
(11/27実施)

マッチング会
(福島・郡山・会津若松・いわき)
(12/5～12/12)

NPOと連携・協働すると・・・

社会貢献
(企業イメージアップ)

企業の店舗スペースの一部をNPOが主催する相談会場として提供。企業イメージアップ、顧客サービスにつながる。

企業の成長
(社員の成長)

障がい者支援するNPOが勉強会を開催。障がい者雇用を目指す企業に情報を提供。障がい者との接し方や社員教育につながる。

社会課題の解決
(住みよい地域づくり)

NPOが運営する子ども食堂に対し、在庫品や食品サンプルを提供。食品ロス削減につながる。

他にも
多数の
マッチング
事例があります。

主 催 / 福島県 令和5年度ふるさと・きずな維持・再生支援事業 NPO、企業等との連携・協力事業

事務局 / ふくしま地域活動団体サポートセンター
〒960-8043 福島県福島市中町2番2号 福島県庁5階7号
TEL 024-621-7333 FAX 024-623-2741

運営協力 / 福島県企画調整部 文化スポーツ課 文化振興課
運営協力 / 特定非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンター

NPOと企業等のマッチング事業 参加申込書

必要事項を記入して、FAXまたはメールにてお申込みください。

企業名	
参加者氏名 (2名まで)	
電話番号	
メールアドレス <small>(お知らせ情報交換会で使用します)</small>	

企業向け情報交換会 (希望者のみ)
11/27(月) 14:00～15:30

参加 不参加

講師：東森 歩(ひがしもりあゆみ)氏
スーパーマーケット地産地消推進センター、フロンティアレジジョン・マーケットイングCDO、カルチャーコンランナー、Foodshare、福島県農業企業代表者

マッチング会 時間帯はすべて 13:30～16:30

郡山 12/5(火) 郡山労働福祉会館中ホール
〒963-8014 福島県郡山市虎丸町7-7

福島 12/6(水) 福島市市民活動サポートセンター 会議室8
〒960-8041 福島県福島市大町4-15 チェンバおおまち

会津若松 12/7(木) アピオスペース4F 大会議室
〒965-0059 福島県会津若松市インター西9 0

いわき 12/12(火) いわき産業創造館(ラトブ6F) 会議室1
〒970-8026 福島県いわき市平字田町120

※参加ご希望の会場にチェックを入れてください。
※複数回のご参加いただけます。定員は各会場とも25名までとなります。

■ 申込締切 **11月15日(水)**
※会場の収容人数の都合により、定員になり次第締め切らせていただきます。

■ 申込方法 [FAX] (024)523-2741
[メール] f-matching@f-saposen.jp

■ お問い合わせ ふくしま地域活動団体サポートセンター 担当：齋藤(宏幸)、内山、伊藤
電話 024-521-7333

講座受講者へのアンケート集計結果

1) 今回の情報交換会に参加した感想はいかがですか？

	回答数	回答率(%)
1.大変有意義だった	1	25
2.有意義だった	3	75
3.ふつう	0	0
4.あまり良くなかった	0	0
5.良くなかった	0	0
合 計	4	

2) 情報交換会での内容や資料はわかりやすかったですか？

	企業	回答率(%)
1.大変わかりやすかった	1	25
2.わかりやすかった	2	50
3.ふつう	0	0
4.やや難しかった	1	25
5.難しかった	0	0
合 計	4	

3) 本講座の理解度は何%くらいですか？（回答数）

- ・ 100%(2)
- ・ 80% (2)

4) 講師：東森歩氏への質問や参加した感想などをご記入ください

- ・ 事例が具体的でわかりやすかったです。
- ・ 特に事業課題と地域社会的課題のテーマについての話しが参考になった。地域振興を活動方針の一つとしているため。
- ・ NPOとの連携で失敗した経験や事例を伺いたいです。
- ・ ととても参考になりました。ありがとうございました。

5) 今回の情報交換会をきっかけとして、NPOとの協働に期待することをご記入ください。

・『桜街道児童絵画コンクール』と『こども応援賞』を11年間続けており、展示や表彰式などでNPOと連携しワークショップなど開催ができればさらに、子供たちや家族も喜んでいただけるのではと思っています。

・なかなか協働できる活動が考えつかない

・地元へ貢献したい気持ちが強まりましたが、当社は福島県内の店舗展開が少なく、なかなかハードルが高いと思いました。

・相互に発展的な活動をめざしたい。

(4)NPOと企業とのマッチング会

NPOと企業等とのマッチング会は、令和5年12月5日から同12日にかけて、郡山会場を皮切りに、福島、会津若松、いわきと県内4会場で実施した。延べ21のNPO等団体と21社の企業の参加がありました。

マッチング会前半では、出席された方の自己紹介のあと、NPOが現在取り組んでいる課題や企業との協働ニーズについてプレゼンテーションを行いました。後半では、NPOと企業担当者が1対1で対話する機会を設け、協働に向けたさまざまな取組が検討されました。

■実施詳細

<マッチング会スケジュール>

- 12月5日(火) 郡山 (郡山労働福祉会館)
 - 12月6日(水) 福島 (福島市市民活動サポートセンター)
 - 12月7日(木) 会津若松 (アピオスペース)
 - 12月12日(火) いわき (いわき産業創造館)
- ※開催時間：13：30～16：30

<当日プログラム>

- ① 開会
 - ・出席者のご紹介
 - ・マッチング会の進め方の説明
- ② 参加NPOによるプレゼンテーション
- ③ マッチング会 (個別対話)
- ④ 事務連絡・閉会

■各会場の実施詳細

<郡山会場>

○参加企業数・NPO数

	法人・団体数	参加者人数
企業	5	5
NPO	8	11
合計	13	16
県・オブザーバー※	3	4

※福島県文化振興課(1名) いわて連携復興センター(1名)

ふくしまNPOネットワークセンター(2名)

【参加企業名簿】 ※()は参加人数

- ・ エヌケー・テック株式会社 (1名)
- ・ 日本政策金融公庫 郡山支店 (1名)
- ・ 株式会社 Mot.Com もとみや (1名)
- ・ 鈴木実行政書士事務所 (1名)
- ・ 合同会社ジーアール福島 (1名)

【参加NPO団体等名簿】 ※()は参加人数

- ・ 特定非営利活動法人ビーンズふくしま (2名)
- ・ 特定非営利活動法人ココネット・ママ (1名)
- ・ NPO法人 makana (2名)
- ・ NPO法人青空たけのこ (1名)
- ・ よりあいコミュニティソーシャルワークス (2名)
- ・ 一般社団法人オープンデータラボ (1名)
- ・ 特定非営利活動法人こおりやま子ども若者ネットワーク (1名)
- ・ 特定非営利活動法人いわて連携復興センター (1名)
- ・ こどもたちのすこやかな未来をはぐくむ父母の会 (1名)

参加者へのアンケート集計結果

1. ご参加された感想はいかがですか？

	企業	NPO	合計	回答率(%)
1.大変有意義だった	3	1	4	44.4
2.有意義だった	1	4	5	55.5
3.ふつう	0	0	0	0
4.あまり良くなかった	0	0	0	0
5.良くなかった	0	0	0	0
合計	4	5	9	

※設問1で大変有意義だった、有意義だった方に質問します。特にどのような点が有意義だったのか、番号に○を付けてください（複数回答可）

	企業	NPO	合計	回答率(%)
1.NPOプレゼン会	1	2	3	16.6
2.個別面談	1	5	6	33.3
3.さまざまな企業（団体）と接することができた点	2	4	6	33.3
4.じっくり話が聞けた点	1	2	3	16.6
5.その他	0	0	0	0
合計	5	13	18	

2. 今回のマッチング会で、具体的な協働の話ありましたか？（番号に○を付けてください）

	企業	NPO	合計	回答率(%)
1.あった	2	3	5	55.5
2.なかった	2	2	4	44.4
合計	4	5	9	

1.あったの場合、具体的な内容をよろしければご回答下さい

- 講座の開催について、チラシの制作について

- 情報発信の方法について
- 具体的な協働の話はありませんでしたが、事業のヒントをいただきました
- 活動について周知をできる場と発信したい情報を持っているという点が一致し、具体的な話ができた
- イベントのチラシを職業訓練の生徒にデザインしてもらう
- 職業体験、カメラ教室
- ラジオ局の見学とアナウンス体験、イベントの告知
- ガラス工場見学、簡単なガラス模様つけ体験

3. 協働に関して、当サポートセンターに期待すること、要望などあればお書きください

- 資料の配布が五月雨だったため、まとめていただくと（プレゼンに集中するためにも）ありがたいです。
- 公庫として、NPOの資金繰り支援に関わらせていただければと思います。貴重な機会をいただきまして、ありがとうございました。

<郡山会場の様子>



<福島会場>

○参加企業数・NPO数

	法人・団体数	参加者人数
企業	9	12
NPO	8	11
合計	17	23
県・オブザーバー※	4	6

※福島県文化振興課(1名)、福島県復興・総合計画課(2名)、
いわて連携復興センター(1名)、ふくしまNPOネットワークセンター(2名)

【参加企業名簿】※ () は参加人数

- ・ 株式会社高正 (1名)
- ・ 伊達貨物運送株式会社 (2名)
- ・ 日本政策金融公庫 福島支店 (1名)
- ・ 福島ガス株式会社 (1名)
- ・ 株式会社いちい (2名)
- ・ 福島信用金庫 (1名)
- ・ 株式会社ハッピーケア (1名)
- ・ 鈴木実行政書士事務所 (1名)
- ・ NCC STUDIO (1名)

【参加NPO団体名簿】※ () は参加人数

- ・ NPO法人コースター (1名)
- ・ 特定非営利活動法人ビーンズふくしま (2名)
- ・ 一般社団法人 MotherTree (2名)
- ・ 特定非営利活動法人ココネット・ママ (1名)
- ・ NPO法人はーぐる (1名)
- ・ 一般社団法人アイプロデュース (1名)
- ・ 特定非営利法人チームふくしま (2名)
- ・ NPO法人こども緊急サポートふくしま (1名)
- ・ 特定非営利活動法人いわて連携復興センター (1名)

○アンケート集計結果

1. ご参加された感想はいかがですか？

	企業	NPO	合計	回答率(%)
1.大変有意義だった	5	2	7	43.7
2.有意義だった	4	5	9	56.2
3.ふつう	0	0	0	0
4.あまり良くなかった	0	0	0	0
5.良くなかった	0	0	0	0
合 計	9	7	16	

※設問1で大変有意義だった、有意義だった方に質問します。特にどのような点が有意義だったのか、番号に○を付けてください（複数回答可）

	企業	NPO	合計	回答率(%)
1.NPOプレゼン会	4	2	6	19.3
2.個別面談	7	5	12	38.7
3.さまざまな企業（団体） と接することができた点	5	5	10	32.2
4.じっくり話が聞けた点	2	1	3	9.6
5.その他	0	0	0	0
合 計	18	13	31	

2. 今回のマッチング会で、具体的な協働の話ありましたか？（番号に○を付けてください）

	企業	NPO	合計	回答率(%)
1.あった	6	3	9	56.2
2.なかった	3	4	7	43.7
合計	9	7	16	

1.の場合、具体的な内容をよろしければご回答下さい

- 防災訓練などでの商品提供、子ども食堂でのお手伝い
- 今後、社内で検討。現在進行中のNPOもあります。
- こどものまちの協力等
- 子ども仕事体験の企画
- 子ども向けイベント、レジ体験、ポスター、チラシ、シールの設置など
- 来年のイベントでの職場ブース
- 子どもたちが調理し、飲食する体験活動
- 店内へNPOチラシを掲示することでの団体広報の協力など
- 検討したい話は複数ありました。
- 今後に繋がるきっかけがありました。また参加してみたい。

3. 協働に関して、当サポートセンターに期待すること、要望などあればお書きください

- 参加にあたり、自分の準備を整える必要を感じました。はじめて参加させていただきました。ご案内いただきありがとうございました。
- 複数の企業の方と短時間で話ができる機会はありがたい
- 「お互いさまの街ふくしま」の話がもっと聞きたい

<福島会場の様子>



<会津若松会場>

○参加企業数・NPO数

	法人・団体数(A)	参加者人数
企業	4	5
NPO	3	3
合計	7	8
県・オブザーバー※	2	2

※福島県文化振興課(1名)、ふくしまNPOネットワークセンター(1名)

(参加企業)

※ () は参加人数

- ・ 日本政策金融公庫 郡山支店 (1名)
- ・ 有限会社スパイス企画 (2名)
- ・ 株式会社エフエム会津 (1名)

(参加NPO団体)

※ () は参加人数

- ・ 合同会社ジーアール福島 (1名)
- ・ NPO法人マイウェイ (1名)
- ・ 特定非営利活動法人希来里 (1名)
- ・ 会津美里町集落支援みさとねっと (1名)

○アンケート集計結果

1. ご参加された感想はいかがですか？ (番号に○を付けてください)

	企業	NPO	合計	回答率(%)
1.大変有意義だった	2	1	3	60
2.有意義だった	1	1	2	40
3.ふつう	0	0	0	0
4.あまり良くなかった	0	0	0	0
5.良くなかった	0	0	0	0
合計	3	2	5	

※設問1で大変有意義だった、有意義だった方に質問します。特にどのような点が有意義だったのか、番号に○を付けてください（複数回答可）

	企業	NPO	合計	回答率(%)
1.NPOプレゼン会	1	0	1	11.1
2.個別面談	2	2	4	44.4
3.さまざまな企業（団体）と接することができた点	1	1	2	22.2
4.じっくり話が聞けた点	1	1	2	22.2
5.その他	0	0	0	0
合計	5	4	9	

2. 今回のマッチング会で、具体的な協働の話ありましたか？（番号に○を付けてください）

	企業	NPO	合計	回答率(%)
1.あった	2	2	4	80
2.なかった	1	0	1	20
合計	3	2	5	

1.の場合、具体的な内容をよろしければご回答下さい

- 今後のつながりができた
- 商品取引が成立
- 今後予定されるイベントへの参加承諾
- 商談が整った。

3. 協働に関して、当サポートセンターに期待すること、要望などあればお書きください

- もっとたくさんの方が参加しているとよい。
- 今後もこのような会があればご紹介ください。大変有意義でした。
- 当公庫の支援メニューについてのニーズを把握することができ、大変参考になりました。
- 具体的な商談の機会を見ることができ、参考となりました。
- NPO等が抱える課題をより多く知ることができれば有益

(会津若松会場の様子)



<いわき会場>

○参加企業数・NPO数

	法人・団体数(A)	参加者人数
企業	3	3
NPO	2	2
合計	5	5
県・オブザーバー※	1	1

※福島県文化振興課(1名)

(参加企業)

※ () は参加人数

- ・ 株式会社いわき市民コミュニティ放送 (1名)
- ・ 日本政策金融公庫 いわき支店 (1名)
- ・ 合同会社ジーアール福島 (1名)

(参加NPO団体)

※ () は参加人数

- ・ 特定非営利活動法人いわき市障がい者職親会 (1名)
- ・ NPO法人中之作プロジェクト (1名)

○アンケート集計結果

1. ご参加された感想はいかがですか？ (番号に○を付けてください)

	企業	NPO	合計	回答率(%)
1.大変有意義だった	0	0	0	0
2.有意義だった	2	2	4	100
3.ふつう	0	0	0	0
4.あまり良くなかった	0	0	0	0
5.良くなかった	0	0	0	0
合計	2	2	4	

※設問1で大変有意義だった、有意義だった方に質問します。特にどのような点が有意義だったのか、番号に○を付けてください（複数回答可）

	企業	NPO	合計	回答率(%)
1.NPOプレゼン会	0	0	0	
2.個別面談	2	1	3	
3.さまざまな企業（団体）と接することができた点	1	1	2	
4.じっくり話が聞けた点	1	1	2	
5.その他	0	0	0	
合計	4	3	7	

- 普段からお付き合いのある方ではありますが、改めていろいろな話を伺い、課題の解決など一緒にできれば良いなと思いました。

2. 今回のマッチング会で、具体的な協働の話ありましたか？（番号に○を付けてください）

	企業	NPO	合計	回答率(%)
1.あった	0	1	1	
2.なかった	2	1	3	
合計	2	2	4	

1.の場合、具体的な内容をよろしければご回答下さい

- FM いわきの番組で、障がい者雇用の話題をテーマとした番組をお願いした。

3. 協働に関して、当サポートセンターに期待すること、要望などあればお書きください

- 定期的な開催を期待します。
- 引き続きNPOなどへのソーシャルビジネス支援をお願いしたい。

(いわき会場の様子)



(5)マッチング会後のアフターフォロー

マッチング会の終了後、参加NPOや企業に訪問し、聞き取り調査を行いました。

- ◇ 実施期間：令和6年2月5日(月)～令和6年3月31日
- ◇ 実施方法：訪問・聞き取り調査

1. 訪問企業、NPO

(企業)

- 伊達貨物運送株式会社
- 株式会社ハッピーケア
- 株式会社高正
- 福島信用金庫
- 株式会社いちい

(NPO)

- 特定非営利活動法人ビーンズふくしま

2. 聞き取り内容詳細

(企業)

① 伊達貨物運送株式会社

- NPO等とのマッチング会への参加の経緯
 - ・ マッチング会には、4, 5年前から参加している。商工会議所からの案内を見て参加しました。
 - ・ 地域の社会貢献活動の一環として、NPOの支援をしています。
- NPO等への支援について
 - ・ 今後、動物の保護活動団体を支援したい。商工会議所からの広報雑誌でNPO法人SORAアニマルシェルターを知り、直接、同団体に連絡しました。現在、社内に募金箱を設置しています。
 - ・ 今年のマッチング会で出会ったNPO法人は一ぐるとは、その後、連絡して、団体のステッカーを社内に掲示したとのこと。
 - ・ 単なる金銭的な支援だけではなく、NPOとの協働することで支援をしたい

- ・ 年末に社外に配布するカレンダーを巻く作業を依頼するなど、NPOと仕事を依頼できる関係性づくりが理想です。
 - ・ 子ども食堂の社員ボランティアなどは、社員教育の一環に寄与するものと思います。固定化された社内での人間関係ではなく、子どもや親などとふれ合うことがとても貴重な体験となりました。
 - ・ 新卒採用の際、NPOを支援していることが、学生に対しアピールにもなっています。
- **マッチング会やサポートセンター等への要望等**
- ・ マッチング会に参加する団体の活動分野などを事前に知りたい。

② 株式会社ハッピーケア

- **社会貢献活動について**
- ・ 企業として、社会貢献活動をすることの重要性は認識しているものの、財務への影響を考えるとなかなか実行しづらいものです。
 - ・ 自社は、事業を通じて、介護サービスの向上を目指し、それによって地域社会への貢献をおこなっています。
 - ・ 現在、介護用具の紹介、使い方のコツ、介護のヒヤリハットを最寄りの学校の授業や公民館などから依頼され実施している。地域に会社の認識アップに寄与しているとのこと。
- **NPO等との協働について**
- ・ ビジネスマッチのようなことならば分かるが、NPOとの協働といっても、成果をどこに持っていければ良いのかが分からない。
 - ・ NPO側に「必要なもの」もしくは、「提供できるもの」を明らかにしてほしい。
 - ・ 食品を取り扱っており、一定量、災害備蓄用としてストックしている。賞味期限があるため、販売期限が過ぎたものの寄付を検討しても良い。

③ 株式会社高正

- **NPO等とのマッチング会について**
- ・ 地域社会に根差した営業活動を長年しており、福島市のNPO団体等がどのような活動をしているのか興味があり、参加しました。

➤ **NPO等との協働について**

- ・ NPOの認知度が不足しているのでは。もっとNPO側が積極的にPRしてはどうかと思います。
- ・ 「持ちつ」「持たれつ」のようなビジネス上の関係性を構築し、情報共有できればと思います。
- ・ 地元企業のため、地域の特色を出した地域貢献を検討したいです。
- ・ 加工品の食品ロス（販売期限の切れたもの）を提供できる。フードロスをなくす取組に活用できるか検討しています。

④ **福島信用金庫**

➤ **社会貢献活動について**

- ・ 「地域から受けた恩は地域に返す」との思いから。
- ・ クラウドファンディングをお手伝いしている。
- ・ 今まで多くのNPO団体を支援していますが、支援団体を選定する際、職員からの申し出や得意先からの推薦で決定しています。

➤ **NPO、NPO等との協働について**

- ・ NPO活動の受賞歴などをもっとPRしてはどうでしょうか。受賞等の新聞等の記事などをうまく活用したらどうかと思います。NPO等で働く方の家族に対しても、また、団体への採用の際にもアピールになると思います。
- ・ 備蓄食料（レトルト食品など）を信金内に一定量保存しており、入れ替え時期に福祉団体に寄贈しています。

⑤ **株式会社いちい**

➤ **社会貢献活動について**

- ・ 地域スポーツ支援として、「いちい杯福島市家庭バレーボール大会」等を実施し、今年で35年となります。
- ・ 聴導犬自販機を全店舗に設置しています。今までの寄付総額約329万円となります。自販機売上の5%を日本聴導犬協会へ寄付しています。
- ・ いきいきふくしマーケットは、以前、まちなか店（旧中合店）で不定期イベントとして、授産品を出店販売していました。常設の販売スペースがないことを知り、全店において、さまざまな障がい者施設で生産された授産品の販売を取り組んでおります。

➤ **NPO等との協働について**

- ・ 震災前からさまざまなNPOと協働しております。
- ・ スーパー業界のため幅広い人々と関わりがあるため、地域住民とのつながりが密になること。頼りにされる存在となることが大切と考えています。

(NPO団体等)

① **特定非営利活動法人ビーンズふくしま**

➤ **企業等の協働事例**

- ・ 福島ガスとの協働事例
企業に食材や食器、開催場所を提供していただき、団体側は、学生やボランティアなどを集め、夏休みなどの長期休みの時期に定期開催しています。
- ・ 株式会社こんのとの協働事例
フランチャイズチェーンで運営している大戸屋で子どもの職業体験

➤ **企業との付き合い方のコツ**

- ・ 企業側に協働するメリットや価値を示すことがあります。
- ・ 日頃から、支援してくれる企業の方との縁を大切にしていること。
- ・ 自団体の強みを知ること。
- ・ NPOと企業との関わり方が変わってきたと感じます。以前ですと、NPO側の困りごとを企業側が解決し、地域貢献につながるという流れがありましたが、現在は、例えば、企業主催のイベント等で人集めに困っていることがあり、それを得意とするNPO側が協力するというケースもあります。

➤ **その他**

- ・ NPOの横のつながりも大切だと思っています。ひきこもり支援をしていますが、社会復帰の段階で、直に企業側ではなく、準備期間として、他のNPOにボランティアで就業体験をお願いしています。自団体だけではなく、他のNPOとの連携も重要です。

(参考)

○岩手NPO×県外企業交流会の参加報告

マッチング会にオブザーバーとして参加したいわて連携復興センターが運営する企業とNPO団体のマッチング会が開催された。

<開催詳細>

- 開催日：2024年1月19日（金）13:00～15:30
- 主催：岩手県
- 運営：特定非営利活動法人いわて連携復興センター
- 会場：全水道会館（東京都）
- 参加NPO団体：14団体
- 参加企業：19社

<実施内容>

1. 主催者挨拶（岩手県 協働推進室室長）
2. NPO団体のプレゼン（1団体につき3分間）
パワーポイントにて発表
3. 団体発表終了後、コーディネーターから一言コメント
※プレゼン内容についての詳細質問
※プレゼン途中でタイムアップした団体に関しては、特に強調したいことを短くアピールするように促す。
4. マッチング交流会

(会場の様子)



4. マッチング事業の成果

「NPOと企業等とのマッチング会」後の協働に関する成果、令和6年3月現在の進行状況は以下のとおり。

(団体名・企業名等 敬称略)

○マッチング会以後に協働した事業

報告(1) NPOの授産品をイベント会場にて出品、授産品販売を支援。

- ◆ NPO 特定非営利活動法人希来里
- ◆ 企業 有限会社スパイス企画

① 協働事業の内容

企業が企画・運営したイベント『会津フェア in イオンモール名取』(R6.1月開催)でNPOの授産品を出展し、授産品の販売を支援した。

② 双方のメリット

- ◆ NPO 授産品の販路拡大。工賃アップ
- ◆ 企業 販売品目の増加。

③ 成果

マッチング会で、NPOの活動内容のプレゼンにおいて、同団体が製造している授産品を紹介したところ、企業側の会津地方の産品を紹介する販売イベントで新規品目を増やしたいとの要望と合致し、販売が実現した。



報告（2）NPOの主催イベントをスーパー全店で告知。団体の広報支援。

- ◆ NPO 特定非営利活動法人中之作プロジェクト
- ◆ 企業 株式会社マルト（特定非営利活動法人いわき市障がい者懇親会で出席）
 - ① 協働事業の内容
NPOが主催したイベント『つるし雛飾りまつり』（R6.1月～2月開催）の告知ポスターをいわき市内マルト全店に掲示。NPOの活動の広報を支援した。
 - ② 双方のメリット
 - ◆ NPO 主催イベントの告知
 - ◆ 企業 スーパー来店客へのイベント情報提供
 - ③ 成果
NPO法人いわき市障がい者懇親会の理事長が株式会社マルトに所属していたことから、イベント告知の協力を依頼したことによる協働。



（イベント告知ポスター）

報告（3）NPOの活動内容を紹介するステッカーを社内に掲示。団体の広報支援。

- ◆ NPO NPO法人は一ぐる
- ◆ 企業 伊達貨物運送株式会社
 - (1) 協働事業の内容
NPOの活動内容を紹介するステッカーを社内に掲示。団体活動の普及・広報支援した。
 - (2) 双方のメリット
 - ◆ NPO 活動内容の普及・広報協力
 - ◆ 企業 従業員へNPO活動内容の紹介

(3) 成果または進行状況

マッチング会でのプレゼンテーションで、同団体の活動を知り、後日、企業の担当者がNPOに連絡し、ステッカーを送付してもらい社内に掲示している。



(団体ステッカー)

○令和5年度マッチング会以降で協働に向けて現在進行中の事業

1. NPO：ココネット・ママ

- ◎ 企業：エヌケー・テック株式会社

NPOが企画するイベントチラシを企業が実施するパソコン講座や職業訓練の教材として提供し、デザイン作成してもらう予定。

- ◎ 企業：福島キャノン株式会社※

職業体験（工場見学）やカメラ教室の開催に向け準備中

- ◎ 企業：Mot.Com もとみや

ラジオ局の見学、アナウンス体験に向けて準備中。NPOが実施するイベント（こどものまち）告知協力を予定。

2. NPO：チームふくしま

- ◎ 企業：株式会社いちい

NPOの取組み「ペイフォワード（恩送り）※お互いさまチケット」事業を企業がフランチャイズにて経営している飲食店（モスバーガー）で実施予定。

3. NPO：マイウェイ

- ◎ 企業：有限会社スパイス企画

企業が企画・運営するイベントにてブース出店予定。

4. NPO：青空保育たけの子

◎ 企業：福島キャノン株式会社

従業員の福利厚生の一環として、青空保育たけの子の保育事業を紹介。NPO代表が企業に訪問し、社内に紹介パンフレットなどを配架予定。

○令和4年度マッチング会で検討し令和5年度に実施した事業

1. NPO：ビーンズふくしま（福島市子ども居場所づくりバックアップ本部事務局）

◎ 企業：伊達貨物運送株式会社

NPOが実施するイベント（福島市子ども食堂ネットフォーラム）の告知に企業が協力した。

2. NPO：桑折町共に生きる社会を創る会 輪楽創

◎ 企業：伊達貨物運送株式会社

企業が配布するカレンダーを丸める作業（授産活動支援）を依頼した。

3. NPO：ビーンズふくしま

◎ 企業：株式会社こんの

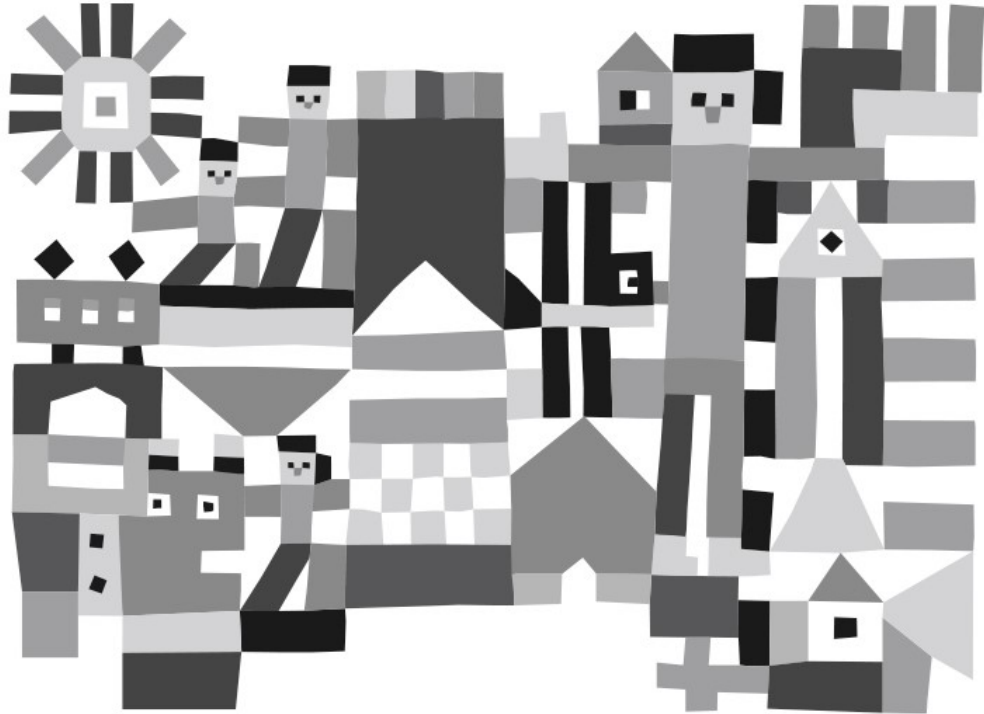
企業がフランチャイズで経営している飲食店で、子ども向け職場体験イベント（子ども店長）を実施した。

4. NPO：桑折町共に生きる社会を創る会 輪楽創

◎ 企業：株式会社いちい

新規開業した店舗に授産品の販売スペースを設置した。

※以上、令和5年12月～令和6年3月に実施した取材より抜粋



令和5年度 ふるさと・きずな維持・再生支援事業事務業務
NPO、企業等との連携・協力事業
(マッチング事業)
報告書

令和6年3月 発行

ふくしま地域活動団体サポートセンター

〒960-8043 福島県福島市中町8番2号 福島県自治会館7階

TEL 024-521-7333 FAX 024-523-2741

URL <https://fnpo-matching.f-saposen.jp/>

事業委託：福島県企画調整部文化スポーツ局文化振興課

事業受託：認定特定非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンター
